

# ちなみに、

こんにちは。えらぶの夏もそろそろ終わりですね。秋の風を感じて心地よいような、ちょっぴりさみしいような複雑な心境のきみちゃんです。この秋からは家庭教育支援員としての活動が始まり、これまで以上にみなさんと直接出会う機会が増えそうです。よろしくおねがいします!

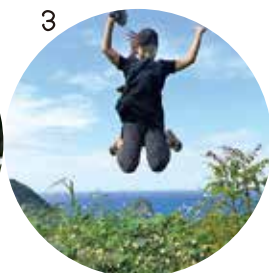


こんにちは、きみちゃんです。九月から十一月にかけて出張ラッシュを迎えています。奄美群島の地域おこし協力隊が大集結した意見交換会、家庭教育支援員初任者研修、地域コーディネータースキルアップ研修など…たくさん勉強の機会を与えていただき、本当にありがたく思います。

一〇月に奄美大島で開催された「家庭教育支援員初任者研修」では、家庭教育支援員として活動するための基礎的な研修を受けてきました。「家庭とはなにか」といったそもそも論から始まり、「発達障害」、「いじめ・不登校」、「児童虐待」のような家庭に関わる課題の現状や「カウンセリングの基礎」、「ワークショッププログラムの運営方法」、「地域の事例発表」等、実際に家庭教育支援員として活動するときに必要なスキルに触れることができました。

もともと東京でもユースワーカーとして中高生に関わる仕事をしていたり、教育系のライターとして活動していた時に専門家に話を聴く機会も多かったため、発達障害やいじめ・不登校に関わる基礎的な知識は持っていたものの、鹿児島県の実情を知ることができたこと、そして実際にこの地域で支援に関わる方たちとのつながりができたことがとても大きな収穫だと言えます。最後日には、少人数のグループに別れて「支援員としてできること」を考えるワークを行いました。わたしたちのグループでは「家庭教育支援員」の位置付けについて深く議論し、専門家として支援にあたるスクールカウンセラーやソーシャルワーカーとの違いを明確にし、より家庭と対等に近い立場で、支援するというよりも、ともに考え、共感し、解決の糸口を一緒に探し、必要に応じて専門家につながることでできる存在でありたいね、と意見がまとまりました。これからそのような立場でみなさんとお会いする機会もあるかと思っています。どうぞお気軽に話しかけていただけると嬉しいです。

ちなみに、この活動のひとつとして、田皆で「放課後のまなび場」をスタートすることになりました。こちらはまた一月号でご紹介できると思います。どうぞお楽しみに!



1\_奄美大島の協力隊のみなさんと。2\_国立公園の看板、デザインは同じだけど素材が違う! 3\_やっぱりえらぶと奄美大島の雰囲気って全然違いますね! 4\_帰省ついでに山口県の協力隊のみなさんにもご挨拶してきました。5\_田皆小での新聞制作も順調に進んでいます!